



祐介の目

No.107

大田祐介 (福山市議会議員)

中には懇意にしている議員もいる。彼らは真摯に議会活動を行っており、人望もあり選挙にも強い議員たちだ。だからこそ狙われたのかもしれない。金額の多寡は関係ないとのお叱りを承知で言わせてもらえば、30万円程度で彼らの政治生命が断たれるとは、悔やんでも悔やみきれない。

もう一方が悪い、それは正論だがもつと悪いのは河井夫妻ではないのか。さらに言えば、参院選にて一票を投じた有権者に責任はないのだろうか。福山市選挙区の投票率は42・6%、得票数は1位森本4万9130票、2位河井4万7599票、3位溝手3万9178票という結果であった。なんの事は無い、買収された議員がいなくても市民は溝手氏より河井氏を選んでいたのである。

全国あらゆる選挙において、若い女性の候補者の当選確率は非常に高いというデータがある。希少な若い女性というだけで投票する有権者がいかに多いかということだ。選挙区が広くなるにつれて、候補者の政策や人柄は伝わりにくくなる。「騙された」と言う前に、ネットで検索や選挙公報を比較するなど、できる事をして欲しい。

河井夫妻事件

河井克行前法相と妻の案里参議院議員が逮捕された件は連日のようにワイドショー等で取り上げられているので、もうよくご承知だと思う。

私が気になるのは40数人と言われる現職議員の扱いである。新聞に名前も受け取った金額も掲載され、もう十分に社会的制裁は受けたと検察は判断したのか不起訴とした。しかし当人たちは針のむしろの状況だろう。自ら釈明会見をする議員、辞職する議員、辞職告決議を可決される議員、これから辞職ドミノが始まるかもしれない。

もし私のところにも白い封筒が来た場合、断固として断れたらどうか。報道によれば「無理やり置いて帰った」とか「安倍総理からです」等、それが本当ならもらい事故と云うか、パワハラに遭ったという感じさえする。幸い福山市の市議・県議は誰一人受け取っていないが、他市の40数人の